

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立愛珠幼稚園

令和8年4月

大阪市立愛珠幼稚園 令和 8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

今般の子どもを取り巻く様々な状況から、引き続き、「新しい生活様式」を取り入れた園運営に取組み、教育活動を工夫し、幼児期の学びを保障することが重要である。指導にあたっては、幼稚園教育要領、就学前教育カリキュラム等を踏まえ、日々、実態に沿った見通しのある教育活動を展開すること、状況に応じて、適宜、活動の精選や実施時期の変更等、見直しや工夫を図り、幼児の負担とならないよう柔軟に対応すること等が必要である。

- 本園は、園舎の構造上、各保育室等の引き戸、窓等にはガラスが多く使われており、廊下も長い。地域は、高層ビルや高層マンションが建ち並び、周辺の道路は交通量が多い。このような状況を踏まえ、これまでから、防災教育、防犯、交通安全、園内での安全な行動等、いろいろな安全教育に取り組んできており、安全・安心な教育環境の重要性を認識している。本園の実態、今般の防災・減災教育の観点を踏まえると、今後も、安全・安心のための行動の仕方を知る、自分から危険を回避しようとする意識や態度が芽生えるように、これらの取組を総合的・計画的・継続的に行っていくことが必要である。
- 園児の9割以上は、高層住宅に住んでおり、核家族で家族構成が限られているなど、家族以外の人と接したり、同年代の子どもとふれ合ったりする経験が少ない。幼稚園に入園し、初めての社会生活を体験する子どもがほとんどである。このような実態から、友達や教師、地域や近隣の小学校等、身近な人との関わりの中で、優しさや愛情、思いやり等の気持ちを育んだり、社会生活に必要な約束やきまり等を知り、守ろうとしたりすることができるような取組を継続的に行うことで、幼児期にふさわしい、道徳心や規範意識、社会性を育むことにつながると考える。
- 「何かな」「面白そう」「やってみよう」と、心を動かし、自分から遊び出すことは、自ら行動しようとする原動力であり、小学校以降における、生活や学習での課題を自分事として受け止め、意欲的に取り組む、粘り強く取り組む等は、日々の生活を充実させるとともに、様々な経験から得た学びは、生きる力を育てていくと考える。本園の幼児の家庭環境や地域の状況を踏まえると、入園までにいろいろな人やものに関わったり、刺激を受けたりする経験が少なく、自分から遊びを見出していくことが苦手だったり、消極的だったりする子どもが多い。子どもが、いろいろなことに興味や関心をもって存分に遊び、考えたり、工夫したり、試したり等、自分で考え行動し、心豊かに成長していくように、幼児の実態に即した指導や環境を工夫していくことが必要であると考えます。
- 本園は交通量の多い道路や高層ビルに囲まれ、近隣で存分に体を動かす環境が少ない。子どもたちの生活圏も同様で、移動手段は車か自転車が中心、多くが高層住宅に住んでいるため、日頃から階段を登り降りする経験が少ない。加えて、このような状況から、室内で過ごすことも多かったことから、基礎体力の向上、しなやかな体づくりへの取組は必要である。したがって、進んで体を動かして遊ぶことから、体力の基礎の向上やバランス感覚等が養えるよう、指導方法、園庭や遊戯室等の環境の工夫、機会を捉え、地域の環境を活用する等、取組を進めていく。
- 子どもが園生活で存分に遊ぶためには、一人一人が健やかであることが必要である。一人一人の健康保持・推進のためには、食事や睡眠、排泄等の習慣に興味や関心をもって取り組めるようにする等、健康な生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けていけるように指導を工夫することが必要と考える。並びに、子どもが健やかに育っていくためには、家庭との連携は欠かせないこと

から、取組への理解・協力のために、周知や情報発信等についても継続的に行っていく。

- 令和8年1月に、「教職の魅力向上方針」並びに「学校園の働き方ビジョン」及び「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」が策定され、これまで以上に学校園での働き方改革への取組が進められている。市立幼稚園については、他校種と異なった制度が多く、働き方改革が進みにくい現状の中、本園としては、教職員それぞれが熱意と専門性を発揮し、働きがいやモチベーションを高めていくためには、どのような取組をすればよいかと、これまで、長時間勤務の解消や事務の効率化に向けた取組等を進めてきたところである。「働きやすさ」「働きがい」「ワークライフバランス」を実感しながら、業務に向き合っていけるよう、今後一層、幼稚園におけるICTを活用していく。よりよい教育環境の提供や家庭教育の支援としてICTを効果的・効率的に取り入れていくことは、働き方改革の一つの術となると考える。
- 自園の特色ある教育活動を行っていくために、教職員が取組の方向性を共有し、連携して教育活動を進めていくこと、教職員それぞれが研鑽を積み、一層の実践力を身に付けていくこと等は欠かせない。したがって、これら教職員の質の向上につながる取組として、専門的な知識・技能の習得の機会を設ける、教員の資質の向上に関する指標を活用し、キャリアステージに対応させながら、定期的に自己分析を行い、一層の資質の向上につなぐことが重要である。
- 核家族で集合住宅、高層マンションに居住している等の子育て世代が多く、子育て世代同士のコミュニケーション、未就児同士が関わり合う機会は非常に乏しい。近年、園周辺では、新たな高層マンションが複数建設中である。ますます、子育ての支援、ふさわしい教育現場が求められる。本園では、このような状況を踏まえ、地域の子育て支援のセンター的な役割を果たすため、家庭教育や地域の子育てを支援する機会として園の施設を提供するとともに、本園の教育への理解・推進となるように、取組を発信している。今後も、引き続き、ホームページや保育支援システム等、情報の発信方法を工夫し、子育ての支援、特色をいかした取組の理解に努めることが重要である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 保護者アンケートで、「幼稚園は、生活の中で安全に過ごそうとする意識や習慣が身に付くように指導や環境の工夫をしている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、70%以上にする。
(1-6 安全教育の推進)
- 保護者アンケートで、「幼稚園は、社会生活に必要な基本的な態度や習慣が身に付くように指導や環境の工夫をしている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、70%以上にする。
(2-1 道徳教育の推進)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 保護者アンケートで、「子どもは、いろいろなことに興味や関心をもち、遊ぶことを楽しんでいる」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、70%以上にする。
(3-1 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進)
- 保護者アンケートで、「子どもは、園生活の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを感じている」ことについて、「そう思う」の割合を毎年、75%以上にする。
(5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)
- 保護者アンケートで、「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めている」の項目について、「そう思う」の割合を、75%以上にする。
(5-2 健康教育・食育の推進)

【学びを支える教育環境の充実】

- 教職員アンケートで「ICTを活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」という項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を毎年70%以上にする。（7-1 働き方改革の推進）
- 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」という項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を毎年、70%以上にする。（7-2 教員の資質向上・人材の確保）
- 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」という項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を毎年85%以上にする。（9-1 教育コミュニティづくりと地域学校協働活動の推進）

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ① 保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごすための約束や決まりを意識できるような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ② 保護者アンケートで、「幼稚園は、進んで身の回りの始末や整理整頓をしようとする態度が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 保護者アンケートで、「お子様は、いろいろな人と関わることを通して、進んで遊ぶことを楽しんでいきますか」という項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ② 保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいきますか」という項目について、「そう思う」の割合を75%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めていますか」の項目について、「そう思う」の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 教職員アンケートで、「保育支援システムを活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を70%以上にする。
- ② 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を70%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立愛珠幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごすための約束や決まりを意識できるような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。</p> <p>② 保護者アンケートで、「幼稚園は、進んで身の回りの始末や整理整頓をしようとする態度が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>安全に過ごそうとする意識を育てるための指導や環境の工夫をする。 (1-6 安全教育の推進)</p> <p>指標 ・安全教育の年間計画を立て、視覚教材などを活用して計画に沿った指導を行う。(年10回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者啓発をする。(情報誌を発行する: 年3回) ・教職員の安全に関する意識を高める。(学期に1回の環境整備) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月) 	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>ものを大切に作る気持ちを育て、進んで身の回りの始末や整理整頓をしようとする態度が身につくような指導や環境の工夫をする。 (2-1 道徳教育の推進)</p> <p>指標 ・各年齢にあった指導の工夫をする。(年3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具や用具等を扱いやすく、片付けやすい環境を工夫する。(学期に2回) ・園内清掃をする。(年3回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

(様式2)

大阪市立愛珠幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 保護者アンケートで、「お子様は、いろいろな人と関わることを通して、進んで遊ぶことを楽しんでいただけますか」という項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。</p> <p>② 保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいただけますか」という項目について、「そう思う」の割合を75%以上にする。</p> <p>③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、健康な生活を送るための指導に努めていますか」の項目について、「そう思う」の割合を60%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【3 幼児教育の推進と質の向上】 いろいろな人とのかかわりを通して、進んで遊ぶことを楽しめるような指導や環境の工夫をする。 (3-1 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進)</p>	
<p>指標 ・園内研修を実施する。(年1回) ・身近な人との関わりを工夫する。(おさんぽデー・みんなあそび・小学校との交流・地域との交流等)(年20回) ・保護者への啓発をする。(幼稚園だより:年10回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)</p>	
<p>取組内容② 【5 健やかな体の育成】 進んで体を動かして遊べるような指導や環境の工夫をする。 (5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	
<p>指標 ・体操やダンスの年間計画を実施する。(年10回) ・保護者とのふれあい活動を工夫する。(誕生会:10回) ・歩く機会を設ける。(おさんぽデー:年7回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)</p>	
<p>取組内容③ 【5 健やかな体の育成】 健康な生活を実践する力を身に付けられるような指導を工夫する。 (5-2 健康教育・食育の推進)</p>	
<p>指標 ・健康に関する指導を実施する。(年5回) ・保護者啓発をする。(情報誌を発行する:年5回) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

今後への改善点

大阪市立愛珠幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 教職員アンケートで、「保育支援システムを活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を70%以上にする。</p> <p>② 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を70%以上にする。</p> <p>③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う（ややそう思う）」の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>負担軽減、業務の効率化や操作技術習得に向けた取組を行う。 (7-1 働き方改革の推進)</p> <p>指標 ・保育支援システムを活用した園内研修会を実施。(年10回) ・教職員アンケートを実施する。(7月・1月)</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>研修会や講演会、他園参観等への参加、キャリアステージに応じた指標を用いて自己分析をする。 (7-2 教員の資質向上・人材の確保)</p> <p>指標 ・園内研修保育の実施(年1回) ・研修会や講演会、他園参観への参加(年10回) ・「資質の向上に関する指標」を活用し、各自で振り返りを行う。(学期毎3回) ・教職員アンケートを実施する。(7月・1月)</p>	
<p>取組内容③【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教育方針や特色ある取組について発信方法を工夫する。 (9-1 教育コミュニティづくりと地域学校協働活動の推進)</p> <p>指標 ・子どもの生活や活動の様子が分かる発信の方法を工夫する。(年10回) ・ホームページや保育支援システムを活用し、配信する(記事の作成、幼稚園だより、保健だより、配布文書、写真など:各自が昨年度を上回る目標回数数の設定、各自年3回~20回程度) ・保護者アンケートを実施する。(7月・1月)</p>	
<p>中期目標並び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

今後への改善点